



防火層付き塗布型制振材シヨウダンプ® NH-5 の日本海事協会承認取得

Nippon Kaiji Kyokai Approval Acquisition of Damping Material with Fire Protect Layer “SHOWDAMP NH-5”

1. 概要

2012年、国際海事機関（IMO）にて開催された第91回海上安全委員会（MSC91）において、海上における人命の安全のための国際条約（SOLAS条約）に規定されている船内騒音コードの改正が採択されました。

SOLAS 船内騒音コード改正概要

- ・適用対象船舶：総トン数1600トン以上の船舶は、義務コードとして適用（強制）※従来は奨励
- ・総トン数1600トン未満の新造船、現存船については、コードの要件に適合することを奨励（非強制）
- ・総トン数10000トン以上の船舶の居住区域については、現行コードより一律5 dB低い値へ強化
- ・居住区域の隔壁 防音特性の強化
- ・適用 ①2014年7月1日以降の建造契約
②2015年1月1日以降の起工（建造契約がない場合）
③2018年7月1日以降の引渡し
のいずれか該当する新造船。

本コードの改正に伴い、制振材の需要は従来の特定の船舶（艦船、巡視艇、各種調査船等）を中心とした限られたものから、一般商船を含む幅広いものに変化していくことが予想されます。そこで、従来のNH-2、NH-3より施工自由度、材料保管方法、コスト面において汎用性を高めたシヨウダンプ®NH-5を開発し、防火用材として国土交通省（JG）の型式承認に加えて、日本海事協会（NK）の型式承認を取得しました。

2. 用途

船体の壁、床に塗布することで鋼板を伝わる振動を減衰させ、固体伝搬音を抑制します。これにより、居室の騒音低減に効果を発揮します。

3. 構成

(A) 制振材

主成分 主 剤…エポキシ樹脂
硬化剤…ポリアミドアミン
混合比（質量比）主剤：硬化剤 = 2：1
比重 1.4

(B) 防火層

耐熱グラスフェルト、アルミ箔の積層構造

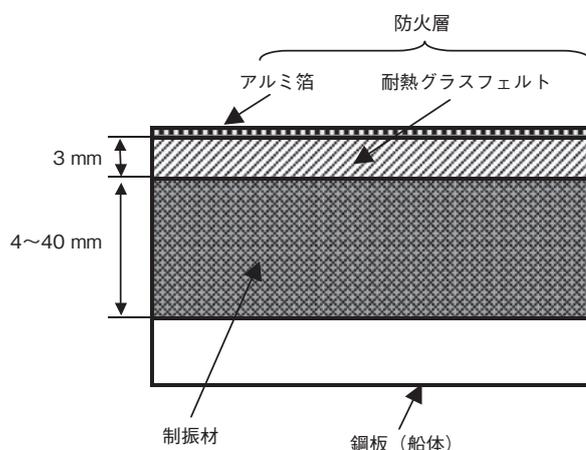


図1 防火層付き塗布型制振材「NH-5」構成図

4. 特長

1. 100～5000 Hzの幅広い周波数範囲にわたり、優れた振動減衰性能を有しております。
2. 塗布型であるため、凹凸や曲面にも施工が可能です。
3. 鋼板（船体）の厚さに応じた制振材厚さで施工することができます。
4. 床に施工する場合、表面の仕上げ材料を防火層の上に施工することができます。
5. 主剤・硬化剤とも「指定可燃物・可燃性固体」となり、消防法による保管数量制限が従来品よりも軽減されます。
6. 次の船級承認を取得しております。

国土交通省（JG）表面仕上材
（上張り材）型式承認番号 第F-524号
（一次甲板床張り材）型式承認番号 第F-524号
日本海事協会（NK）
（難燃性上張り材）認定番号 15FPA11CV
（一次甲板床張り材）認定番号 15FPA12DC

シヨウダンプは昭和電線ケーブルテクノロジー(株)の登録商標です。

問合せ先：〒105-6012 東京都港区虎ノ門4-3-1(城山トラストタワー)
昭和電線デバイステクノロジー(株)
営業部 制振制音営業課
電話(03)5404-6983 FAX(03)3436-2587